

## 小高診療所の整備について

### 1 診療所整備基本方針

小高診療所については、現在、旧小高病院の解体工事に伴い、一時的に小高保健福祉センター内に設置しているが、今後、将来の有床診療所としての活用可能性も踏まえた恒久的な診療施設として、新たに小高区内に整備する。

### 2 診療所施設建築概要

- (1) 構 造 木造平屋建
- (2) 概算延床面積 約 400 m<sup>2</sup>
- (3) 主な施設

室 名	数	面 積
診察室	3	約 42 m <sup>2</sup>
処置室、準備室	1	約 54 m <sup>2</sup>
受付・会計	1	約 10 m <sup>2</sup>
待合室、玄関ホール	1	約 45 m <sup>2</sup>
レントゲン室・レントゲン操作室	1	約 28 m <sup>2</sup>
薬品（備品）室	1	約 8 m <sup>2</sup>
患者用トイレ	4	約 24 m <sup>2</sup>
医局	1	約 30 m <sup>2</sup>
事務室	1	約 30 m <sup>2</sup>
職員更衣室	2	約 14 m <sup>2</sup>
廊下、風除室等		約 115 m <sup>2</sup>
合 計		約 400 m <sup>2</sup>

※1 建物の延床面積については、現時点の概算面積であり、今後、実施設計を構築する中で変更する可能性があります。

※2 診療所の配置図・平面図（案） 資料3-2、3-3のとおり

### 3 整備場所

---

- ・所在地 南相馬市小高区東町三丁目地内（旧小高病院跡地）
- ・現況地目 宅地
- ・地 積 5, 505. 87 m<sup>2</sup> (概算建物延床面積 約400 m<sup>2</sup>)  
(うち市有地 2, 933. 45 m<sup>2</sup>)

### 4 医療機能

---

- ・内科、外科
- ・一般撮影（立位式・臥位式）

### 5 医療機器

---

- ・レントゲン機器（CR・PACS 含む・新規設置）
- ・自動CRP測定装置（新規設置）
- ・自動血球計測装置（新規設置）
- ・超音波画像診断装置（既存）
- ・心電計（既存）
- ・血圧脈波検査装置（既存）
- ・自動体外式除細動器（既存）
- ・酸素吸入器（既存）
- ・調剤用冷蔵庫（既存）
- ・オートクレーブ（既存）

### 6 診療体制

---

当面は常勤医師1人、看護師3人

### 7 整備工程

---

年 度	内 容
令和元年度	基本設計、地質調査、不動産鑑定
令和2年度	実施設計、用地取得、建設工事
令和3年度	建設工事、開所